2016
環境プロジェクト

世界の幸せをカタチにする。

武蔵野大学

Musashino University

編集者：斉藤はるか（3年）
発行：武蔵野大学環境学部
環境システム学科
東京都江東区有明3-3-3
発行日：2016/12/8

もくじ

1. もくじ
2. 環境システム学科とは
3. 環境プロジェクトとは
4. Aqua Circle
5. アリアケ海岸
6. ECO REPORT WAY 21
7. 環境教育プロジェクト
8. Greening
9. 古民家再生
10. 里山保全
11. シカプロジェクト～しかをいただく～
12. 自転車プロジェクト
13. Team One Planet
14. 東北プロジェクト
15. 半農半学プロジェクト
16. むさしのビオトープ
17. 防災教育
18. NATURE☆iLLumination
19. 環境みつばち
20. もったいない食堂
21. LOHASカフェ
22. じゅんぐり祭チラシ

環境システム学科

持続可能な社会へと導く、
環境のプロフェッショナルを目指す

環境システム学科では、文理融合のカリキュラムを採用し、学問領域の枠を越えた知の融合を実践。4年間の学びを通して、高い専門性・熱き環境マインド・強いリーダーシップを兼ね備えた環境のプロフェッショナルを育成します。

＜文理の壁を超える　幅広い研究領域＞

環境経済学・環境政策学

環境心理学・行動科学
ESD論・社会技術論

生物学・生物工学分野

メソ気象・海象学
科学教育・地域文化論

惑星磁気圏物理学
超高層大気宇宙学
宇宙プラズマ物理学
地球物理学

環境システム学
持続可能社会論

建築学・環境プロセス学

環境地球化学・環境リスク学

環境プロジェクトとは？

　工学部環境システム学科の２・３年生対象の２年連続の授業であり、学生主体となってプロジェクト単位で活動する授業です。
　教員・一緒に参加してくださる企業の方は、あくまでも学生の相談相手です。
　学生自ら課題を発見し、計画を立て行動し、評価し、改善するPDCAサイクルが身につきます。
　企業とタッグを組むプロジェクト、地方とつながるプロジェクト、里山に行ったり、イベントを開くプロジェクト。
　そんな授業の枠が見えないからこそ無限大の可能性を秘めている、武蔵野大学独自の授業です。

詳しくはこちら👉

＜協力団体一覧＞　（敬称略・順不同）

●Team One Planet
株式会社One Planet Caf
ロハスカフェARIAKE
板橋区立エコポリスセンター

●環境教育プロジェクト
大成建設株式会社
高尾の森わくわくビレッジ
玉川大学学生環境保全委員会

●Greening
ロハスカフェARIAKE

●LOHASカフェ
ロハスカフェARIAKE

●東北（石巻）プロジェクト
一般社団法人ピースボード
センターいしのまき

●地域共生環境
谷津干潟自然観察センター

●里山保全
特定非営利活動法人 緑サポート八王子
戸吹北森を守る会

●アリアケ海岸
お台場海苔づくりの会
金沢八景 アマモ場再生会議
東京都港湾局
NPO海辺つくり研究会
谷津干潟自然観察センター
KOKOPELLI+（ココペリ プラス）

●むさしのビオトープ
大成建設株式会社
NPO法人生物多様性チーム江東

●Eco Report Way 21
特定非営利活動法人 サステイナビリティ創造研究学会

●環境みつばち
一般社団法人江東みつばちプロジェクト

Aqua Circle

活動内容

東京湾の魚を盛り込んだ水槽を使い水質浄化のための魚や貝を展示し、身近な水質状況についての知識を広める。それによって水環境に対しての考えを変えてもらえるような活動を行う。

目的

みんなが普段から考えている水環境に対する知識をよりよく、いいものにしてもらうため。

目標

Aqua Circleの活動を通して現在の状況やこれからのことをより深く考えてもらえるような意識改革につなげる。

①目的・目標

昔は豊かであった海の姿を取り戻し、生命感あふれる海にするだけでなく、希薄になっている海と人々の関係を密接にして誰もが気軽に海と関われるようにする。
海の生き物たちのために海のビオトープを作ることを目標としている。

アリアケ海岸

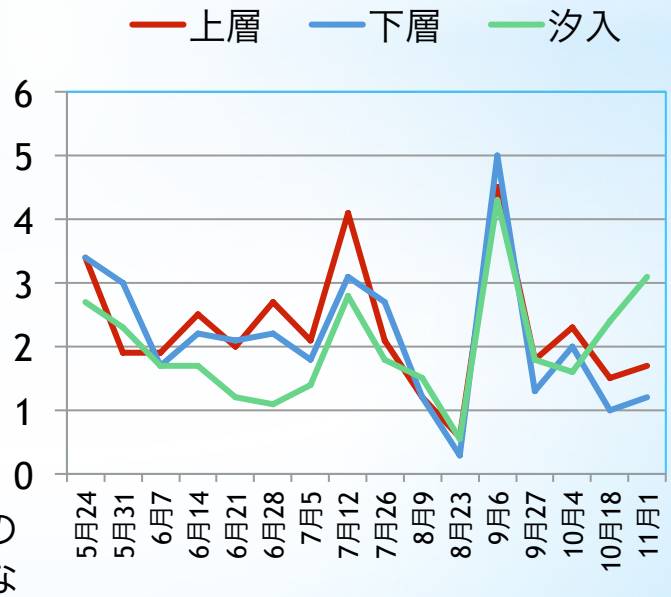
メンバー
3年生…4人,2年生…5人

③生物観察

岩場や海辺に生息している生物の観察をし、水質の状態から様々な生物を季節ごとに確認。

②水質調査

溶存酸素濃度(mg/L)



毎週火曜日に溶存酸素濃度、塩分濃度、水温を調査。(今回は溶存酸素濃度を表示)

ECO REPORT WAY 21

ECO REPORT WAY 21

【活動背景】
ECO REPORT WAY 21(ERW21)は持続可能な社会の実現を目指すために企業が取り組んでいる「CSR（企業の社会的責任）」に着目してプロジェクト活動を始めていきました。

企業活動が
持続可能な社会をめざそう
とする姿

↓ 広げるツール

CSR報告書

報告書を読んでくれることで

- 広範囲に情報を公開
- コミュニケーションの拡大

But! 限られた読者にしか読まれていないため、企業の行ったことを評価してくれる人が少ない。

【活動目的】

ERW21は企業のサスティナビリティレポート・CSR報告書を評価・分析・を行い、企業訪問にて提言・意見交換を行うことで企業のCSR活動をより良くしていくために活動をしています。

活動9年目。
累計66の報告書を評価分析！

今年度訪問企業

11/22　株式会社電通様
11/29　サントリーホールディングス様
12/6　カルビー株式会社様
　　ヤマトホールディングス様
12/7　株式会社LIXIL様
12/13　味の素株式会社様

計6社

学生側のメリット

・環境・CSR報告書を評価することで、企業をより詳しく知ることができる。

・自分の働きたい会社像等将来を具体的に考えることができるようになる。

企業側のメリット

・報告書をステークホルダーの一員で将来の社会人である学生が読むようになる。

・学生の行う評価と分析によって、報告書をより魅力的なものにできる。

学生・企業双方に
利益をもたらす！

詳しくはこちらへ！
【Facebook】
https://www.facebook.com/EcoReportWay21

環境教育プロジェクト　2016

・メンバー
原田海　遠藤智仁　稲木遊野　渡辺俊介　濱口沙耶

・活動目的

持続可能な社会の構築のため、次世代に向けた環境教育によって社会貢献を実践していく。

・活動目標

自然体験を通じたイベントを企画し、そこで子供たちが自然の大切さに気づき、環境問題やその解決策について興味、関心を持ってもらう。

・活動内容（2016）
6/4　　エコ・ライフフェア　@代々木公園
6/5　　環境フェア　@えこっくる江東
7/12　成徳中　出張授業
12/17　じゅんぐり際　（落ち葉アート）

私たち環境教育は、自然とのつながりを少しでも多くの人々に知ってもらうために活動してます。今年度の活動は、代々木公園で玉川大学の皆様と大成建設様のブースを借りて、生息地あてゲームをしました。次にえこっくる江東で行われた環境フェアでは水質浄化実験をしました。さらに成徳中学校で出張授業をさせていただきました。今後も自主活動や武蔵野大学で行われるじゅんぐり祭でも活動予定してます。

Greening

私たちはメンバー4人で主にロハスカフェのテラスにおいて植物を育てる活動をしています。
アーバンパーマカルチャーを通して「都会にいながら緑を生活に取り入れることで心にゆとりを持ち、より豊かに生きる」ということをモットーにしています。

アーバンパーマカルチャーって？

…【Urban】（都市）、【permanent】（永続的）、【culture】（文化）、【agriculture】（農業）を繋ぎ合わせた造語。

都市において環境や生態系を破壊することなく、
自然の豊かな恵みによって人の暮らしを満たす様々な技術のこと。
また、持続可能な生活・文化・社会のシステムをデザインする知恵のこと。

活動内容

▼ ワークショップへ参加し、パーマカルチャーの基本を学ぶ

▽ 学校内のロハスカフェのテラスで野菜や花を育て、収穫
（オクラ、ゴーヤ、トウガラシ、ナス、パプリカ、ラベンダー、レモングラス等）

▼ 土づくりや種植え、苗の移し替えのワークショップ開催（2回）

▽ 収穫したものを調理して持ち寄るポットラック開催

今後の活動

▼ 旬の野菜を季節ごとに栽培＆収穫
▽ 草木染めワークショップの開催
▼ 郷土野菜などの栽培＆収穫
▽ 外部を含めた活動

詳しい活動内容はこちら👇

Facebook：

古民家再生プロジェクト

目的・目標

私たち古民家再生プロジェクトでは、東京都にある桧原村の古民家をお借りし、古民家の再生を目的とし活動しています。日本には人が住んでいなく使われなくなった空き家、古民家がたくさんあります。そのような古民家の再生をし、利用できるようにしていこうとしています。そして、地域の方々とも交流し、桧原村を活性化していければいいと考えています。

活動内容

古民家の再生、畑仕事

家具の製作、古民家でのイベント

古民家の再生では、まず初めに古民家の清掃をし、古民家からごみとして出されてしまうものの中から再利用できるもの利用しています。また修復が必要な箇所には私たち自身で要らなくなった廃材などを利用し、修復を行っています。

畑仕事では、家主さんの畑作業の手伝いをしています。その野菜をわけていただいたりし、みんなで古民家で料理をしておいしくいただいたりもしています。

家具の製作では、使われていない木材や使われなくなった廃材を利用し、自分で作りたいものを想像し、作成しています。自分の手で作ることは楽しいですし、温かみのある家具をつくることができるのではないかと思っています。

古民家でのイベントでは、今後、古民家に地域の人や学生を呼び、ＢＢＱや野菜の収穫祭を企画し、そして、地域の人とコミュニケーションをとり交流していこうと考えています。

『里山保全』

提携先：NPO法人　緑サポート八王子　戸吹北森を守る会

◆活動方針

里山の良さ、有用性、問題点について知り、自発的に里山保全の活動に取り組む人を増やすため、学生に向けたツアーやイベントを開催して里山の利用価値・魅力を伝え、SNSで発信する。

◆主な活動内容

1.八王子、戸吹の森にて月に2回の定例活動
　農作業　田植え・稲刈りなど
　獣害対策　　猪による獣害を防ぐため、
　　農作物を守るため竹柵を設置
　植生管理　　他の植物の生長を阻害しないよう、
　　竹や常緑樹の間伐を実施
2.ツアーの企画、実施
　里山について知ってもらうためツアーを実施
　☆流しそうめんツアー
　　流し台、器、箸、すべて竹で作成した。
　☆シイタケの菌打ちツアー
　　切り出したコナラに種菌を打ち込んで、シイタケの原木を作成した。

◆活動に対しての思い

里山の自然や文化を皆様に伝えられるよう
山に囲まれた自然の中で技術や知識を磨き
保持できるよう努めたい。そのためにも
全員で一丸となって活動に取り組みたい。

連絡先　Email：s1435005@stu.musashino-u.ac.jp
活動詳細　Twitter: @SatoyamaTobuki

シカプロジェクト
～しかをいただく～

- 概要

  有害駆除された動物の有効活用を模索する。

- 目的

  鳥獣被害について理解してもらうきっかけとして、食を通じて情報発信を試みる。

  大学内の「ロハスカフェARIAKE」でシカ肉料理を提供してもらう。

  シカの流通によって、都市と地方の繋がりを形成する。

- 活動内容

  様々な地域を訪れ、シカによる被害実態を把握。

  食肉加工場の方やジビエ料理のシェフにロハスカフェARIAKEへ来ていただき、商品化などについての話し合い。

- 予告

  『シカ週間』

  日時：12月11日－12月17日

  場所：ロハスカフェARIAKE

  内容：シカ肉料理の提供など。

自転車プロジェクト

- 目的：将来、二酸化炭素の排出量の削減が求められる中で、自動車の排気ガスが二酸化炭素排出量のうちおよそ20％も占めている。そのため、自動車ではなく自転車を使う社会を目指すことが必要になってくると考えられる。そこで私たちは自転車のコミュニティサイクルに注目した。

- 活動内容：主にコミュニティサイクルを実際に使ってみて走りやすい場所や危険と感じた場所の道路環境を調査したり、コミュニティサイクルを実施している区役所に訪ねて、コミュニティサイクルの実証実験の結果の資料を基に自分たちでコミュニティサイクルに関する資料を作成している。

Team One Planet

私たちは、フェアトレードを大学内に広める活動をしています。
フェアトレードとは、公正貿易のことで、これを行うことによって発展途上国での児童労働や、不正な取引を防ぐことができます。
私たちは、先進国の大量生産大量消費が、発展途上国での児童労働や飢餓の上に成り立っているという現状に疑問を抱き、こうした活動を始めました。

七タイベントの様子です。七タイベントとは、7/1～7/7の1週間の間、武蔵野大学、有明キャンパスにあるロハスカフェで笹を置き、短冊に願い事を書いてもらうというイベントです。短冊はフェアトレード商品であるバナナペーパーを使っており、popと一緒に置いてバナナペーパーやフェアトレードについて知ってもらいます。

去年からの引き継ぎで活動したエコスクールでの様子です。板橋区エコポリスセンターで開かれるイベントで、私たちは講師として参加し、フェアトレードについて小学生に話しました。話した後は、バナナペーパーを使った飛び出す絵本やゾウ、サイなどのペーパークラフトを作ってもらい、実際にフェアトレード商品を体験してもらいました。

武蔵野大学有明キャンパス4号館内のトイレに置いた石鹸です。この石けんは、「sheソープ」というバングラデシュやネパールの貧しい女性たちが作ったフェアトレード商品です。11月の間だけ実験的に設置し、主に女性の間で好評を得ました。現在は撤去されています。

東北プロジェクト

- 主に石巻の復興を目標とし、直接石巻に行き現地との交流を広め、東京では現地の生産物を広めようと活動しています。

- **目的：石巻漁業の活性化**

現在、石巻の漁師は6000人います。しかし、10年後には2000人に減少すると言われています……

そこで、私達は石巻の漁業産業を活性化させ、石巻を復興させようと考えました。

- **活動内容：仲間増やしと海産物広げ**

現地に直接行ったり、イベントなど積極的に参加することで漁師などとつながり、交流を深め、信頼関係を築くことで、目標を達成しようとしている。

半農半学

私たちは、都市農業をテーマに行っているプロジェクトです。目標は、今活動として行っている「おもてなしガーデン」で実際に野菜やハーブを植えてイベントなどを通じて来ていただいた方々に体験という形で人を巻き込んで、最終到達目標である「都心に住んでいる方々に都市でも農業ができる。」という概念を知っていただこうと思います。

主な活動内容としては、上記の通りお台場のＶｅｎｕｓＰｏｒｔ前で畑を作って栽培しています。植えた野菜は夏に、トマト、バジル、ペパーミント、ナス、キュウリ、スイスチャード、ピーマン、パプリカを植え、冬は小松菜、ほうれん草、ラディッシュといった鍋に入れる、季節に合う野菜を植えました。

むさしのビオトープ

私たちが管理している、武蔵野大学有明キャンパス内のビオトープは、高層ビルが立ち並ぶ有明の中心に位置し、都心に生態系を観察するのに適しています。私たちは、キャンパス設立当初より存続するビオトープの保全と共にこの環境における生態系を観察し、SNSなどを利用し多方面に向けて情報を発信しています。

伝える → 興味が湧く → 考える

大学のビオトープ だけでは留まらない

NPOの生物多様性チーム江東の方々と協力し、月に一度、環境学習施設、えこっくる江東を訪問し、現地のビオトープにて生態系調査や整備活動を行っています。そこで開催される環境イベントにも参加し、ビオトープを通して多くの方に自然環境に興味を持ってもらうこと、現在起きている様々な環境問題について考えるきっかけを作ることを目標に日々活動しています。そしてビオトープの存在意義も多くの方に理解していただければ幸いです。

TWITTER
@BIOTOP1435

INSTAGRAM
BIOTOP1435

防災教育

～いつかに繋がる行動を～

≪活動内容≫

大学生を対象に、普段学ぶ機会の少ない『防災』についてのワークショップを行っています。また、ただワークショップを行うのではなく、楽しく面白く学んでもらえるように工夫しています。

メンバーは２年生２人と少ないですが、東日本大震災での体験を生かして防災をより身近に感じてもらえるような企画を考えています。

《これまでの活動》

まず、防災教育を行うために、東京臨海広域防災公園や文献を利用して情報を収集しました。

その後、『防災』というものを身近に感じてもらうために非常食の試食会を行いました。参加者には、災害時のために工夫された非常食の特徴やおいしさに気づいていただくことができました。

様々な種類のごはんの他に、ケーキやラスクなどのデザートまで色々な非常食を用意しました。中には25年も保存できるスープも…！

《今後の活動予定》

今後は、武蔵野大学有明キャンパスを利用して、地震発生時の避難順路を確認するツアーを実施したいと考えています。

NATURE☆iLLumination

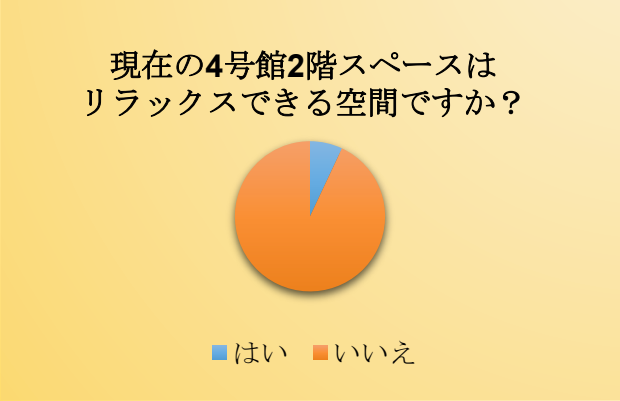
私たちは「リラックスできる空間づくり」を目標に、間接照明を媒体として活動を行っています。リラックスできる空間を作ることで、勉学・仕事効率・集中力の向上だけでなく、放課後や休み時間の各教室利用の減少によるビル全体の節電効果が期待できます。
また空間づくりの照明の材料には、地球温暖化による生態系の変化や、大量消費社会におけるゴミ問題などの環境問題を背景に持つものを使用します。
そして、地球が抱える問題を伝えていきたいという思いで活動しています。

＊これまでの活動

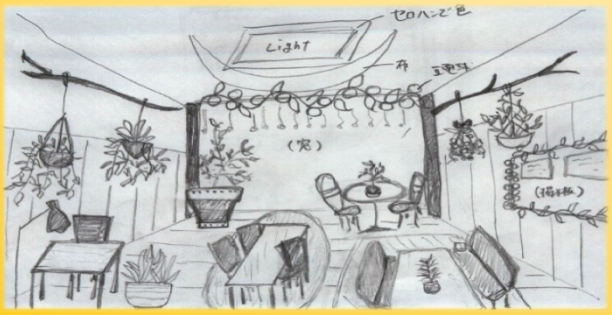
- ４号館２階スペースのアンケート調査
- 癒し空間のデザイン案作成
- 天竜村へ材料収集
- 苔テラリウムや流木ランプ作成

アンケートの結果、90%以上の人が
「リラックスできない」と回答
⇒癒し効果をもたらす間接照明を利用した、
リラックスできるコワーキングスペースへ！

＜天竜村へ材料のコケや流木の収集＞



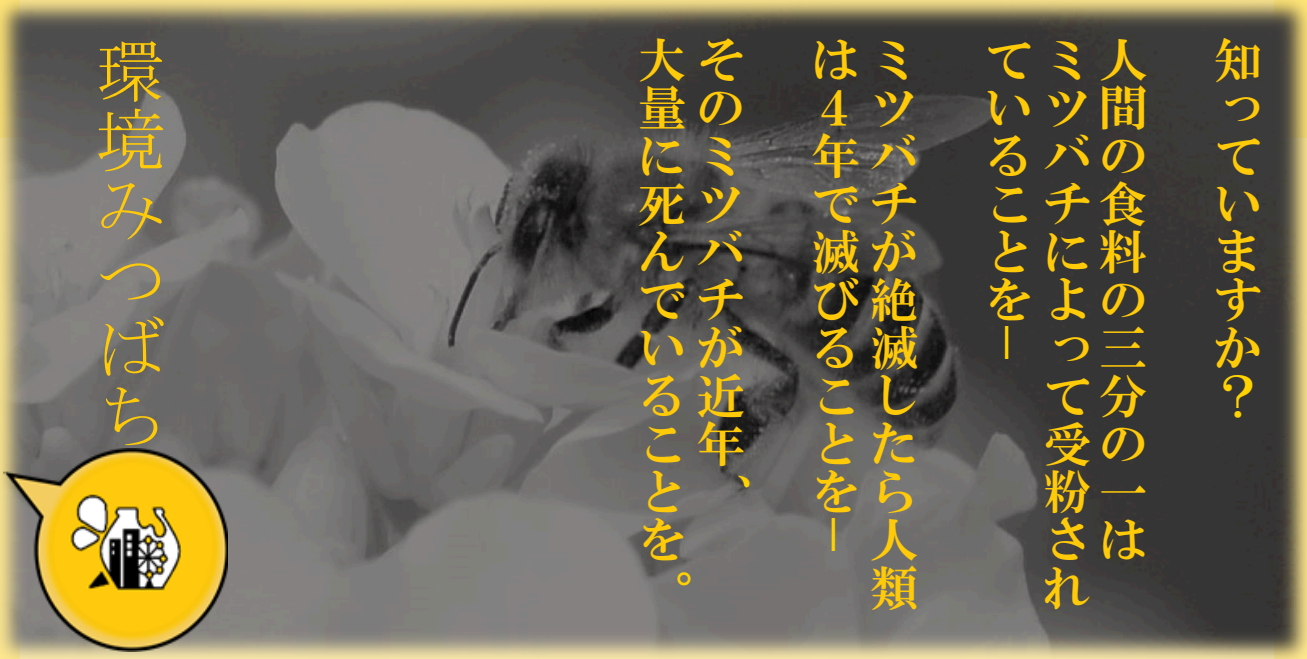
＜癒しのコワーキングスペースデザイン案＞



＊今後の活動

- 癒しのコワーキングスペースの提供
- 利用者へアンケートの実施と利用者への変化の調査
- シーグラスや白化した珊瑚のランプ製作
- 苔テラリウム作りワークショップの開催

＜連絡先＞
s1545043@stu.musashino-u.ac.jp



環境みつばち

知っていますか？

人間の食料の三分の一はミツバチによって受粉されていることを―

ミツバチが絶滅したら人類は４年で滅びることを―

そのミツバチが近年、大量に死んでいることを。

どんな活動をしているの？

現在、男子５人、女子２人の合計７人で毎週火曜日の環境プロジェクトという授業の中で活動しています。環境みつばちは養蜂活動以外にも様々な活動をしています。今年度は学校周辺の保育園に訪問して子供たちにミツバチの大切さを知ってもらうイベントを行いました。子供たちにもわかりやすいミツバチに関する絵本の読み聞かせや、ミツバチのおもしろい生態に関するクイズ大会や、有明キャンパスで採れた蜂蜜の試食会などを実施しました。

今年の12月17日に行われるじゅんぐり祭では有明産の蜂蜜の販売以外に、蜜蝋で作ったリップクリームや蜜蝋キャンドルも販売する予定です。環境みつばちに関する活動内容やイベントの詳細はツイッターにて随時更新しています。

右記のQRコードにて確認よろしくお願いします。

環境みつばちってなに？

環境みつばちは武蔵野大学有明キャンパスの２号館屋上にてセイヨウミツバチの養蜂を行っています。養蜂活動を通してお台場周辺の生態系保全に貢献し、ミツバチの現状や重要さを情報発信することでミツバチへの理解を深め生態系に関心を持ってもらうことを目標に活動しています。

もしみつばちがいなくなると―

これまでミツバチは花粉を集めるときに植物の受粉を促し、豊かな生態系を作ってくれていました。しかし近年、大規模な都市開発やミツバチに有害な農薬が使われていることかその数が減ってきています。もしこのままミツバチが全滅すれば人間の食料の三分の一がなくなるといわれています。併せて、都市部では自然に触れる機会が少ないので生態系に関心を持つ人が減ってきています。このように私たちの暮らしと密接な関わりがあるミツバチですが、多くの人はミツバチがこのような危機にさらされていることを知りません。

もったいない食堂

まだ食べられるにも関わらず、毎日、大量に捨てられる食べ物たち。
どのようにしたら、この食べ物たちを救うことができるのか…
この現状に心を痛めた環境システム学科２年の７人が、
食料廃棄について学び、学んだことを生かし、身の周りで出来る
食料廃棄削減を社会に提案する新規プロジェクトです！

今までの活動

勉強会

食料廃棄の基礎情報を調べ、プロジェクト内で共有しました。また、食料廃棄に関する映画を鑑賞し、文字だけでなく、映像からも理解を深めました。

アンケート調査

一人暮らしの学生に、余らして捨ててしまう食材や消費期限と賞味期限の違いなどについて調査しました。

これからの活動予定

サルベージメニュー開発

アンケート調査結果をもとに余りものを使った料理を考えます。

サルベージパーティの開催

「サルベージパーティー」とは、食べごろギリギリの野菜や買いすぎた加工品などといった、“いつか捨ててしまうであろう食材”を持ち寄り、美味しい料理にする
パーティーのことです。

出張授業

今まで学んできた食料廃棄の知識をフル活用し、近隣の小学校などで授業を行います。

不定期で更新中！
Facebookページ
もったいない食堂

LOHASプロジェクト

プロジェクト概要

LOHASカフェ側とプロジェクト側の事務的処理
などを円滑にして，お互いの負担を減らすために、
わたしたちがコーディネーターとなって、
負担を軽減する活動をしています。
各プロジェクトに提案された企画やイベントを
LOHASカフェで行うことによりLOHASカフェを
環境発信基地にすることを最終目標としています。

目的

地域に愛され，学生・教職員に愛されるばかりでなく、日本各地域からの交流拠点として愛されることによって、武蔵野大学有明キャンパスのシンボル的存在である「ロハスCafé有明」を「都市と地域を結ぶ地域交流拠点」として活性化し、知名度を高める。

活動内容

・ロハスカフェで環境に関する定期的なイベントの主催
・他のプロジェクトにロハスカフェを利用した
イベントの誘致と調整
・ロハスカフェを他のプロジェクトと組み合わせた
季節ごとの飾りを行うと共に、その飾りを作る
ワークショックやイベントを開催する

木から、地球にさわって
楽しもう
あったかフード
環境に関するトークショー
田舎自慢大会
環境クイズ大会
親子で参加できるワークショップ
地域のマルシェ
スタンプラリーでお得な通貨をGET！
じゅんぐり祭
2016
入場無料！
12月17日(土)
10：00～16：00
武蔵野大学　有明キャンパス
主催：武蔵野大学 工学部 環境システム学科
@jungurisai2016

今年も武蔵野大学で環境システム学科の学生による環境の祭典「じゅんぐり祭」を開催します！！

What's じゅんぐり祭？

「巡る」「つなぐ」「まわす」「還す」
4つの循環をじゅんぐりに回すためのイベント

◎ 体験・展示ブース

うにランプづくり　竹箸づくり

落ち葉アート　蜜蠟キャンドル作り

こけランプ　シカ革レザークラフト

火鉢実演　草木染め体験

お魚水槽展示　テラリウムづくり

◎ 飲食ブース

無農薬野菜の豚汁　余剰野菜のシチュー

横手やきそば　石巻産ワカメの味噌汁

フェアトレードのコーヒー/ココア/紅茶

育てた小松菜スープ・ハーブティー

豆腐ハンバーガー　気仙沼メカジキの味噌煮

島根県海士町サザエカレー

◎ マルシェ

鹿児島県種子島
安納芋のやきいも　サンゴ・貝殻

山梨県甲斐駒ケ岳ぴたらファーム
有機野菜、加工品、お米

長野県天龍村
柚子胡椒、野菜ジャムなど

◎ ステージイベント

▼おいらの地元が一番じゃ！田舎自慢大会

▼知って得する！環境クイズ大会

▼今年はどんな話が聞けるかな？
ゲストを招いた環境に関するトークショー

「水環境のすすめ」橋本淳司
「森とギターとゾウと猫」籾井まり

じゅんぐり祭を楽しんでいるうちに、気づいたら環境に
優しい活動をしていて、環境への知識が深まる！！

楽しい企画が盛りだくさん！小さなお子さまもぜひ！

※以上を予定してますが、情報は随時更新しますのでFacebook等をご確認ください。※雨天決行